

平成26年4月18日

魚沼市議会議長 浅井 守雄 様

産業建設委員会
委員長 本 田 篤

産業建設委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 平成26年度記念事業等について
(2) スキー場のその後の経過について
(3) 現地調査
(4) 現地調査の総括
(5) その他

- 2 調査の経過 4月18日に委員会を開催し、所管事務について調査を行った。
平成26年度記念事業等について、スキー場のその後の経過について、説明を受け質疑を行った。
現地調査として、農家レストラン山彩すもん、魚沼市雪むろと農産物加工場、魚沼市森林組合、農事組合法人グリーンファームを現地視察し、視察調査後総括を行った。
その他では米政策変更による影響について、ものづくり協議会と委員会の協議について、バイオマス発電の今後の取り組みについて、データセンターの誘致について、それぞれ質疑を行った。

産業建設委員会会議録

1 調査事件

(1) 平成26年度記念事業等について

(2) スキー場のその後の経過について

(3) 現地調査

(農家レストラン山彩すもん、魚沼市雪むろと農産物加工場、魚沼市森林組合、農事組合
法人グリーンファーム)

(4) 現地調査の総括

(5) その他

2 日 時 平成26年4月18日 午前10時

3 場 所 広神庁舎 301会議室

4 出席委員 富永三千敏、佐藤敏雄、岡部計夫、佐藤 肇、本田 篤、森山英敏
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 青木商工観光課長、星農林課長、滝沢ガス水道局長

7 書記 小幡議会事務局長、中川主任

8 経 過

開 会 (9:57)

本田委員長 定足数に達していますので、ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

(1) 平成26年度記念事業等について

本田委員長 日程第1、平成26年度記念事業等について、を議題とします。本年は、魚沼市誕生10周年をはじめ、石川雲蝶生誕200年など節目の年として各種記念事業が計画されています。ついては、このうち当委員会の所管する事業等について、所管事務調査をしたいとするものであります。先ず、各担当課長から資料により説明を求めます。

青木商工観光課長 (資料「市制施行10周年記念関連事業一覧表」、「市制施行10周年記念関連事業商工観光課対応一覧表」の震災メモリアル結の灯りコンサート、観光PR事業について説明)

星農林課長 (資料「市制施行10周年記念関連事業一覧表」の魚沼の冬を支える食の祭典について説明)

滝沢ガス水道局長 4月に異動になりました、今度、産業建設委員会にお世話になります滝沢と申します。よろしくお願いします。

資料は特にありませんが、毎年やっておりますガス水道局と管工事協同組合とで共催しておりますガス水道フェアに冠をつけてやっていきたいと考えております。例年ですと10月初旬から中旬にかけて実施、会場は小出の商工会館。今現在具体的な計画ができあがっていませんが、同じような形でやっていきたいと考えております。

本田委員長 各課から説明がありました。若干、産業建設委員会の所管外を含んでるものもあるとは思いますが、この案件は議会報告会でも市民の皆さんから意見いただきまして、産業建設委員会で受け取った事案でありますので、その中ということで皆さんから質疑願いたいと思います。ただいまの報告及び説明について質疑はありませんか。

岡部委員 10周年ということで、今それぞれのイベントの説明をいただいたんですけども、他町村では南魚沼市では9,000万円台、小千谷市では6,000万円台の予算を設けてやってるわけなんです。ただ冠つけるだけではなくて、その中でどなたか目玉的な、もっとPRするような人とか、紅葉マラソンであれば著名なランナーを招致し一緒に走るとか、ロングライドでも著名な人を呼んだり、雪合戦にしてもいろんな人たちがいると思うんです。そういうのをを使って、もう少し盛り上げるような形の企画は考えられなかったのでしょうか。

青木商工観光課長 予算的な面でできるだけおさえたなかで効果的なものという条件が、まずありましたので、話題にはでるのですが結論にはいたっておりません。ただ、議会の場でもございましたが、企業とうまくコラボレーションできないのかという案もございましたので、今少し検討中でございます。

岡部委員 当然予算はあると思いますけれども、もう少しアイデアとすれば、学生だとかあまりお金をかけないでできる方法もあろうかと思っておりますので、今4月ですから実施段階の中で、あまりお金をかけなくてもできる著名な人を呼んで、イベントを盛り上げる方法を考えていただきたいと思いますのですがいかがでしょうか。

青木商工観光課長 私どもも実行委員会の一員でございます。ここではっきりどうかとは言えない部分もございますので、そのように事務局会議に意見を述べさせていただきたいと思います。

森山委員 こういったイベントがこれだけありますが、魚沼特使に10周年ということで協力をお願いするような形はとりますか。できたらやったほうがいいと思うのですが、いかがでしょうか。

青木商工観光課長 魚沼特使の管理は商工観光課ですので、そこへの通信は出しているつもりですが、委員ご指摘のとおりこういう情報を提供しながら、自分の得意な分野で活躍の場を、魚沼市に向けていただきたい旨発信していきたいと思っております。

富永委員 観光PR事業のことについてですが、100万円の予算なんですけど今現在どういった内容のPRをするかの考え、計画等がありますか。

青木商工観光課長 この前3つの団体から集まっていたいただいて効果的なアピール方法はないかということで議論いただいたところです。印刷物ですとあまりにもお金がかかる割りには、効果が薄いのではないかということで、テレビもしくはFMで広く内外に呼びかけていくのが一つの場合ではないかというものが出ただけですが、今後また効果的な誘客方法を結論づけていきたいと思っております。ロングライドやヒルクライムは、近付いているので早め

に手を打っていかねばならないと思っております。

富永委員 ロングライドは6月の15日に予定されてまして、もう本当にすぐそこなんですけども、今すぐにでも行動しないと間に合わない。前回会議をされたとのことですが、それは何日だったのかと、今後の会議予定を聞かせてください。

青木商工観光課長 こういう予算があるので効果的に参加者を増やすといった内容の前回の会議は、4月15日でした。各団体が持ち帰って、みんなに相談してみても効果的な方法がないかの次回の会議の予定が決まったという旨の話は聞いてませんが、できるだけ早めに対処したいと思います

富永委員 その3つの団体の皆さんと協議しているとのことですけど、広い意味でのPRと考えれば、その3つの団体だけでなく、違った団体だとか、観光関係の組合の皆さんだとかに声がけしていただくことはできないのか。一緒にPRを考えることはできないのか。

青木商工観光課長 ご説明しましたが庁内の企画政策課がまとめております10周年記念イベントに向けた案ということで提案した中では、しばった中でということで採択を受けたものでございますので、特に集客といったところでとらまえさせていただきたいと考えております。

佐藤(敏)委員 観光PRの件なんですけど、紅葉マラソンは教育委員会で別途ということだったんですが、予算も別にして教育委員会ということなんでしょうか。

青木商工観光課長 紅葉マラソンは今年で3回目と記憶しております。去年参加者を減らしてしまったということで、今までのやり方ではうまくいかないという反省がございまして、私も実行委員の一員として会議に出席していましたら、JTBと組みまして、そこに宣伝を含め委託するという事業に方向を変えておるそうですので、それはそこで力いっぱいやっていただきたいということではずさせていただいた経緯がございまして。

佐藤(敏)委員 宿泊の関連で、地元の温泉等と連携を深めて、ぜひ県外のお客を呼んでくるように願いたい。

青木商工観光課長 市内の方々には周知していませんが、市外、県外の方々には例年観光協会から発信していただいています。温泉宿泊パックを用意しながらヒルクライム、雪合戦、ロングライドについては、宿泊型の旅行提案をさせていただきます。引き続き強化していきたいと思っております。

佐藤(敏)委員 東京からの直行バスがありますが、それはここに該当できませんか。

青木商工観光課長 イベントにあわせて運行させていただいてるところです。

本田委員長 しばらくの間休憩いたします。

休 憩 (10:21)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (10:27)

本田委員長 休憩を解き会議を再開します。

岡部委員 最近の新聞で魚沼市内の商工会がみんなまとまって合併10周年という形の中で、

協働で事業を展開するという記事が載っていたんですけども、これに対し市としては冠をつけて一緒にやるという計画はありますか。

青木商工観光課長 商工会につきましてはまだ統一がなされておられません、議員おっしゃるとおり統一感がなければインパクトが薄いということで、堀之内と小出地区でそれぞれ行っていたチャレンジマップというのを合体しまして、堀之内、小出だけでなく全市的にやっていただきたいということで今年提案して市と協働の中で商業の活性化を図りたいというふうに計画しております。

岡部委員 その中には予算も一緒にやるんですけど、特別いくくらい商工会にもおおまかにですね、年間通じての補助金出てるんですけど、そのイベントだけには市としての予算はどうなっていますか。

青木商工観光課長 商工会補助金とは別に全市的にやるということを条件に、金額の資料が手元にないですが、別枠で予算を配分させていただいたというふうに思っていました。

岡部委員 なんてこういうイベントですね、商工観光関係でやってそれから各温泉地でやるかということ、もちろん市のPRということと同時にそこに住む営業している人たちの経済的な波及効果を狙ってイベントをいろいろ計画されてやってると思うんですけど、年々やってる時にどのくらいの入りこみ数があって、どれくらいの地域に経済の波及効果があったかというような統計やデータはとっているのでしょうか。

青木商工観光課長 実数はつかめるんですけど、経済効果というところは大雑把につかみますと高め高めというふうにはしか出てこないんですけど。前回震災の時にやりましたプレミアム商品券というふうになると数を数えると、なんとなくわかるんですけど、こういったものについてははっきりしたデータ収集というのはつかんでいないのが現状です。

岡部委員 はっきりした数値的に表せなくても、例えば聞き取り調査でですね、イベントやった時にその地域のある程度のところにアンケートや電話調査で「今年度はどうでしたか。売り上げが上がりましたか。」みたいなことは各年やっていく継続事業の中では大切なデータになろうかと思しますのでその辺のことをしっかりやっていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

青木商工観光課長 経済効果という部分がかめなくても、アンケートというのは私ども補助金を出す側でございますので、有効に活用されたかということでアンケートというのが一番大きな調査項目になりますのでそれは各イベントごとに成果として私どもがフィードバックさせていただいています。それを見ながら実施の報告書ができていけるとご理解いただきたいと思います。

佐藤(肇)委員 商工会の連合会に実行委員会みたいのを作っていただいて、今言われた事業をされるということでよろしいですか。今までのチャレンジマップセール、それから堀之内の商工会のスタンプの関係でしょうか、事業をやってられますが、今回その他の湯之谷・広神・守門・入広瀬それぞれそこに一緒に入れるような形で事業を計画されてると10周年記念事業言うような形でされてるというふうに聞いております。今まで主体となって事業を行ってきたのが小出商工会、それから堀之内商工会。ほかのところの皆さん方もどのような形でかわりを持とうとされていますか。

青木商工観光課長 小出のチャレンジマップ、それから堀之内のスタンプラリー、これの構図がございましたので、それを湯之谷・広神・守門・入広瀬へ参加店を募る取り組みを始

めています。その先が商工会の統一ということになるんですが、そこ一点だけとらまえてもなかなか進まないということでこういう合同的な動き、前回のカタログギフトも全市場的に展開させていただきましたが、気がついたら統一できてるんじゃないかという角度を変えた商工会の統一に向かって行くのではと思っております。ご理解いただきたいと思えます。

佐藤(肇)委員 事務作業が始まっているというふうに捉えさせていただきます。実際ごく主体というのは小出商工会が事務局受付けて感じなのでしょうか。

青木商工観光課長 小出商工会だったと思います。

本田委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし) それではこの件については進行形でありますので、本日のところは以上といたします。

(2) スキー場のその後の経過について

本田委員長 日程第2、スキー場のその後の経過についてを議題とします。執行部に報告及び説明を求めます。

青木商工観光課長 (資料「平成25年度見発注工事計上額」、「スキー場利用客状況表」、「平成25年度魚沼市スキーリフトシーズン券購入補助金交付実績」について説明)

本田委員長 この件につきまして、ただいまの報告及び説明について質疑はありませんか。

森山委員 未発注工事計上額についてですが、平成26年に持ち越したということで今年度執行する予定だと思えますが、今年度全額執行する予定なのか、27年度まで継承するということも可能なのか。

青木商工観光課長 基本的には25年度にやるべきこととございましたので、26年度早急にこれは工事をやり、27年度に送るということは考えておりません。

森山委員 一部で一時期に整備するよりは基金として確保した中で使いたいという要望があったわけですが、それについては市としてはできないということですか。

青木商工観光課長 一応、現年度予算は、現年度予算の中でということで考えております。今回工事が遅れたということで翌年度になったという特別な事情ということで、特別な事情がない限りは現年は現年ということでさせていただきたいと考えています。

森山委員 スキー場の利用客、皆さん努力されて成果が上がってきていると思えます。これは人数の状況ですが、経営的にどうなったかは商工観光課の方へ報告等はあがってきてませんか。

青木商工観光課長 早いところはきておりますし、まだ大原は営業していますのでできておりません。今までのように指定管理ですと細かい部分を私どもが要求しながらデータのそろえられるんですが、一般の企業の扱いになりますので、収支ぐらゐの今後の運営について、協議しながら26シーズンをどうとらまえていくかということになるかと思えます。

森山委員 ある程度収益が上がっていなければ民間としてやっていけませんので、まだまだ施設は市有の財産ですので、これをうまく活用していただいて民間で頑張ってもらいたい。望んでこういう形になってきたわけですので、経営状況をその他段階で報告していただいて委員会としても対応を協議していく必要があると私は思います。出揃いましたらまた報告を願います。

青木商工観光課長 市の財産を利用しての事業活動ですので、市に一定の責任があろうかと思ひますし、委員おっしゃるとおりだととらまえております。

森山委員 リフト券の補助ですが、予算より若干オーバーしている。来年度はもう少し増やし、学生からどんどん行ってもらふような考え方をしていただきたいと思うのですがいかがですか。

青木商工観光課長 教育委員会に確認しましたら、今年度並みの予算を計上したと報告はいただいております。

本田委員長 しばらくの間休憩いたします。

休 憩 (10:46)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (10:49)

本田委員長 休憩を解き会議を再開します。

佐藤(敏)委員 未発注工事の関係です。昨年の暮れ須原スキー場に行った際に、ここを願つてあるんだけど聞きましたが、ゼロで間違いないですか。あと利用客状況ですが、収支と一緒に営業日数と営業日あたりの来客数を入れていただくと、今後の経営の参考になるかと思ひますのでぜひ。確か薬師スキー場はかなり人間を減らしているけれども、成績はあがっていると思うんですよ。そういうのも今後の課題になってきますので、お願いします。

青木商工観光課長 須原スキー場の件ですが、私の勘違いかもしれませんが、多分ゲレンデのコースを変えるというような話のような気がしますが、それは今回市が考えてます索道、圧雪車と離れる部分ですので、いずれ斜面を変えるとか、コースを変えるという話になりますと大規模に形状が変わるといふことで、ここには反映されていません。

それから、経営状況ということですが、こちらでもそのように指導してデータをいただきたいということですが、先ほど申し上げた今後のスキー場の支援という言葉が適切かどうかわかりませんが、申請者のスキー場の運営について協議の材料だということをご理解いただきながら提出いただくようお願いするということとどめさせていただきます。

本田委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし) それでは質疑を終了します。本件については引き続き協議をしていきます。

(5) その他

本田委員長 時間が少々ございますので、日程第5、その他について皆さんの中でご意見、協議事項等はありませんか。

本田委員長 しばらくの間休憩いたします。

休 憩 (10 : 53)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (11 : 03)

本田委員長 休憩を解き会議を再開します。その他について皆さんからありますでしょうか。

森山委員 米の政策が大幅に変わったことによる影響はどのようになっているか。もし課題がありましたらお願いします。

星農林課長 計画書のとりまとめを行っている最中ですが、飼料用米が去年200トン位作った方々がいらっしゃいます。同じような形でお願いしたんですが、そこが一部2、3町歩規模くらいの方が何軒か、これ以上生産調整についていけないということで抜けてるということで承知しています。ですので、その分だけ飼料米がお願いしたんだけど出てこない形が見えてきた。最終的にどの程度というのは、まだ集計できていませんのでわかりません。大規模の方が抜けたという形は今のところないようです。

本田委員長 それでは途中ではありますが、時間になりましたので中断します。続きは現地調査のあとに願います。

(3) 現地調査

本田委員長 日程第3 現地調査を議題とします。本日は、別紙行程表にしたがい、農家レストランほか3件の現地調査を行います。庁舎正面玄関に庁用車を準備していますので、乗車願います。ここで、暫くの間、休憩とします。

(行程表により視察)

休 憩 (11 : 05)

休憩中に現地調査

再 開 (16 : 17)

本田委員長 休憩を解き会議を再開します。

(4) 現地調査の総括

本田委員長 日程第4、現地調査の総括を議題とします。総括並びにご意見はありませんか。

佐藤(敏)委員 先般の一般質問で雪を活用するということで訴えてきたんですけど、まさに雪の活用ということでグリーンファーム、ゆきくらフーズ、非常に自然エネルギーを活かして効果を上げている。26年前に作った施設で全国北海道から皆さんが来てるのに、どうして議会は来なかったと、まさにそのとおりだと感じました。雪、自然を活用するということは大事なことです。ぜひ今後活かしてPRして活用してほしいと思いますし、あ

わせて今後の建物等についても雪の冷熱を使った活用ということで、これも私の方で新庁舎をぜひ作ってもらいたいし、そこにそういった施設を活用してもらいたいという提案をさせていただきますので、ぜひお願いしますし、あわせてホワイトデータセンター、これについても一般質問してありますが、その後の経過、お願いしたということだったんですけども、お願いしたばかりでなくともって来てもらうということで、もう一度一つその辺についても確認等後押しを願いたい。

岡部委員　雪国の特性を活かしたエネルギーで何かできないかなと思っていたのが、今回の視察で雪むろと農産物の加工場と農事組合法人グリーンファーム、両方とも雪を利用した貯蔵施設ということで、本当に視察してよかったなと思ってます。施設の雪むろの地元だけでなく、倉庫ビジネスとして飛躍的に雪国の特性を活かしたビジネスが見られたというところが非常によかったなということなんで、今後は市としてどういうふうにサポートしていけるのか、PRも含めて前向きに考えていかなければいけないかなと強く感じました。今後ありとあらゆる雪というものを不用のものとししないで利活用していくことを、この委員会としても考えていかなければいけないと強く思いました。

佐藤(肇)委員　農家レストランについて一点、今年最初の営業だったというお話を伺いましたが、収入を得る一つの手段としての活動をされるということなら、もう少し考えようがあるのではないかと思ったんですけど。お聞きした中で、市の方で建物を無料で使わせていただいているその辺のところとか、そういった部分を含めてあれだけのご馳走を出していただけるというところもあるのかなと。経済観念でいって、費用対効果をある程度どこかで検証しながら儲かるような仕組みを、これをやる人たちが潤うような仕組みを考えていかなければならないのではないかと思います。あくまでも暇な時間、開いてる時間だけ、土日だけとか限定ということになると、なかなかスポットのお客さん、その時の対応しかできない。やはり、観光とかに結び付けていくためには、ある程度継続的な営業が必要になってくるかなと、感じたところです。

富永委員　農家レストランのことで、施設利用料がなしということなので今日の料金が1,000円ということで安くできると思います。ただ自分のところだけ安くというのはうまくなくて、周りとの関係もあるので適正な料金を設定する必要があるのかな。観光ということで考えた時に一軒だけが料金を安くするのではなくて、適正な料金設定、サービスは競争し合ってもいいと思いますが、料金は適正なものにするべきだと思います。そうすることが地域全体の関係にも影響してきますので、一軒だけがそうすると、周りとの関係からするとどうなのかなと考える必要があると思います。

森山委員　各施設ともかなり年数が経っているということですので、最後にお邪魔したグリーンファームでも言われたとおりなんですけども、こういった施設を利用した観光、そういった部分に結び付けるために、新しい施設を市と民間でできたら協同して建設するようなやり方で観光に結びつけるというような部分が必要なのかなと感じました。そうでもしないと、魚沼の農業を背負っていく成長戦略としてはなっていないのかなと感じがしております。あと魚沼市森林組合の木材の利用、バイオマス発電の関係については、相当条件が厳しいのかな。採算ベースにのせるには相当の、私の感じだと毎年行政からかなりのサポートをしてやらないと事業が続いていかないような感じを受けました。これについては、かなり難しい部分があるのかなと、もう少し国とか法整備だとか補助の方ができてこ

ないと今の段階では厳しいのかなと。ただやはり、魚沼市森林組合もそうでしたが、冬場の雇用策としてスキー場を非常に重視しておられましたので、やはりこういった森林組合とかそういった部分については、除雪、スキー場の雇用ともマッチングというのも行政が進めていくべきかなと感じました。

本田委員長 委員の皆さんから意見等総括していただきました。また今後の当委員会の活動の参考にしていくこととし、以上といたします。

(5) その他

本田委員長 日程第5、その他について、午前中より引き続き委員の皆さんの中でご意見、協議事項等はありませんか。

岡部委員 商工会もそうですが、ものづくり協議会との協働の中で、先ほど視察先の社長から言われてたのが、新たに魚沼版の食の陣をやりたいんだと。連携の中で産業建設委員会として、どのようなお手伝いができるのか。それを協議しながらやっていきたいなと思ってますし、定例的な9月頃にやっていた、ものづくり協議会は希望されているということです。その辺も委員長の方から話をさせていただいて、ぜひ継続的な懇談会の運用を願いたいと思います。

本田委員長 先日、ものづくり振興協議会の総会に産業建設委員会の委員長と副委員長で出席いたしました。その要綱の中で、それぞれ取り組みたいこと等が記載されておりまして、食の陣についてもそのうちのひとつだと思いますので、後ほど資料として皆さんにお配りし、参考にしていただきたい。後段の件につきましては、昨年と同じような形で進行していくのかなと思っております。当日の内容につきましては、先方と協議しなければならないと思いますが、内容の濃い意見交換会がしたいというふうに思っています。

岡部委員 産業建設委員会に課題があるんですけども、今、バイオマス発電とかある程度見えてきたところがあると思いますので、そこである程度の方向性というのをどこかで出していったほうがいいんじゃないかなというふうに思うんですけど。ずっと調査、調査ということで予算とかいろいろ使うわけですので、ある程度ここは事態がこういうふうにならない限りは、これについてはどうかとか結論を見えていくような活動が今後は必要なんじゃないかなと気がするんですけど、委員長どうでしょうか。

本田委員長 バイオマス発電については、担当課の方から答弁があれば求めたいと思いますし、一般論的には結論を出していくのが政治でございますので、いつまでも調査ということではなくて、ある程度の方向性を委員会として出す事は必要とは思いますが、手順的には議論というものも必要だと思いますので、その辺の兼ね合いを考えながらやっていくというのが私の基本的な姿勢であります。星農林課長の方からなにかありますか。

星農林課長 まだ始まったばかりですので、委員会の方でどうだろうかという話はあれですけど、まだ行政の中では対南魚沼市、十日町市、中魚沼の関係の中でやってるところです。私どももいつまでもひきずるわけにはならないし、最低限今年度はどうするかというのは出さなければならないと思いの中でやってますし、当然市長、副市長

とも話はしてますし、ある程度の予想的なものができた時点で委員会の方にもお諮りして、こういう状況ですがどうでしょうと時機を見て出していきますので、まだ判断できて決めるような段階ではないということをご承知おきいただきたい。

佐藤(敏)委員 雪冷熱を使ったデータセンター。新聞など見ますと多くの自治体の方で手を挙げたと。魚沼市も手を挙げたということですが、挙げっぱなしでなくて二の矢、三の矢をうって、挙げたのがこっちにくるように再度当局の方から進めていただきたい。その後の経過見通しをお聞かせ願いたい。

青木商工観光課長 県の調査の段階で柏崎、上越、魚沼、南魚沼地域と理解してましたが、県は昨日全市町村へアンケートを出したというふうに聞いています。11の自治体が手を挙げたと報道にあるとおりでございます。その後県に聞きましたし、県の担当であります産業振興課長からもものづくり振興協議会に来ていただいて、その時に話をさせていただきました。最終的な結論は県が選ぶのではなくて、進出する企業が選ぶことになるので。県が仲介し市町村が候補地を提案するという形であります。私どもも企業を教えていただければ、先行的にまわりたい思いはありますが、それは教えていただけないので情報待ちという段階で、こちらから企業に行けないもどかしさを感じております。追加資料をといたたきときにぱっと出せるような準備を整え、県との情報は切らさないようにしているところです。

佐藤(敏)委員 報道によると、地震に強いとか、高速道路が近くにあるだとか、そういったのを魚沼市はこことこことこが条件に合ってますよ、とそういうのを作っていますか。

青木商工観光課長 全部の条件を満たすところは新潟県の中でもごくわずかだと思います。例えば高压電線が2系統なくてはならないとか、1系統でも不可能ではないという見解もありますので。絶対これをクリアしなければだめなのか、それを何かに置き換えられるのでないかと、これから県と実際に進出する企業との交渉だと思ってます。高速道路に近い方がいいとか、かといって近ければ微振動が気になる、磁場が発生するので電波障害があるのではないかと。電波障害には電波障害ブロックの壁を作ればいいんじゃないかといろんな方法があるので、私どもと県とで打ち合わせるのではなくて、進出企業と県と自治体で乗り越えられる壁。それもまた議会と相談という法的な手続きもあろうかと思っておりますので情報が入り次第、行政と議会が一体となってこの壁を乗り越えられる方策を考えるという段取りになろうかと思っております。

佐藤(敏)委員 できるだけ情報報告して、いつそのような状態になってもいいように準備万端にしていきたい。

富永委員 進出してくる企業がわからないということですが、県庁へ足を運ぶということも必要でしょうが、今段階として市のホームページなりにこの件に関して魚沼市はこんな地域の特異性があるって、そういったことにむいてますというようなページを作るとか、パンフレットを作ってほしいの企業の想像がつくと思っておりますので、そこに直に資料を送ったり、出向いて説明するなり誘致活動する必要があるのかと考えますが、いかがでしょうか。

青木商工観光課長 今までデータセンターについて取り組まなかったわけではなく、取り組んでいて情報も今までの企業訪問の中で持っていたことは事実なんですけど、データセンターに限っては大手ゼネコンが入って作るだけ作って、後は電子通信会社がその中に機器を揃えるというのが一般的です。ですので、選択肢が多すぎます。私どもは2、3のゼネコ

ンなのかということで企業訪問させていただいています。ゼネコンが通信会社に場所を提案して、ここなら大丈夫、経費はこのくらいという話で、いままでだとそういう道筋をたどるものと思います。市のホームページにですが、魚沼市の特質だとか、雪が降るけれどもきれいな空気が保たれるというような情報は提供しております。データセンターに限ったの情報提供はしていないのが事実。検討の余地はあろうかと思います。

富永委員　ある自治体がパンフレットやホームページを作っています。自分のところはこれを見てということで。具体的に資料のようなものを、この市内においてどこを例に出すかといういろいろなありますけども、なんらかの資料を作ることができないのか。検討できるかどうか。

青木商工観光課長　今の新潟県の取り組みは、雪の熱効果によってデータセンターの機能が十分発揮できるか実証試験も含めたことになっています。実際にデータセンターというと北海道が先行していますし、規模的には大きなところで1,000ヘクタールですので、2ヘクタールとか4ヘクタールという魚沼市で平場を提供できるというレベルではないので、その自治体はもちろんデータセンター専用のホームページ持ってますし、青森でも300ヘクタールだとか、データセンターは高層建てが不向きなので平屋建て。あと飛行場みたいなところがデータセンターになりうる場所です。そこまでは魚沼市は無理だと思います。何百ヘクタールもデータセンター用地で見つけるというのは、現時点では極めて難しいと思います。

富永委員　もう少し研究していく必要があると思いますし、中越大震災でほとんど被災していない地域もあるわけなので、そこをあてにするなり、そこであれば平屋建てじゃなくて2階建ても可能かなと考えられます。もっと研究する必要があると思います。

本田委員長　この件についてはリアルタイムに物事が進んでいく案件でございますので、引き続き委員会で調査していきます。

ほかにありませんか。(なし) それではこれで本日の産業建設委員会を閉じたいと思います。会議録については委員長に一任願います。それでは、本日の産業建設委員会は閉会いたします。

閉　　会（16：44）